

管理運営評価シート(令和4年度)

施設名称	山辺里デイサービスセンター	評価対象年度	令和 4 年度
指定管理者名	社会福祉法人 村上市社会福祉協議会	所管課	介護高齢課
指定期間	令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日	評価者(課長)	大滝 きくみ

1 令和4年度の実績

(1)事業実績

利用実績	R3.12.1～定員31.1人/日(月～土:33人・日:20人)、363日開所。 延べ利用人数 8,106人(前年比106人減)
サービス向上の取組	年中無休で開所している。また、利用延長サービスを実施し、介護者の都合等で延44回の延長対応を行った。 来荘時の持ち物の軽減と洗濯負担を無くすためタオル類の貸し出しを行い好評を得ている。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (2年度)	前年度 (3年度)	当該年度 (4年度)	合計	備考
収入	指定管理料	0	0	0	0	基本協定額: 0 千円
	利用料金	4,136	4,520	4,438	13,094	利用者食費
	事業収入	67,754	68,612	71,214	207,580	介護報酬等
	自主事業収入	29	15	23	67	自主事業参加費
	その他				0	
	収入合計 ①	71,919	73,147	75,675	220,741	
支出	人件費	57,559	60,562	67,598	185,719	職員・臨時職員給料等
	福利厚生費	176	191	213	580	健康管理費等
	事務費	218	356	334	908	事務諸経費
	管理費	8,934	9,136	10,165	28,235	
	水道光熱費	4,828	5,203	5,576	15,607	電気料、上下水道料等
	修繕料	771	301	299	1,371	施設修繕
	使用料・リース料	1,931	2,180	2,586	6,697	機器リース料等
	手数料・保険料	472	474	624	1,570	賠償責任保険料等
	委託料	932	978	1,080	2,990	施設警備、清掃委託等
	事業費	5,375	5,701	5,092	16,168	介護消耗品等運営経費
	自主事業経費	29	15	23	67	配食サービス、生きがいデイサービス
	その他				0	
支出合計 ②	72,291	75,961	83,425	231,677		
収支差額(①-②)	▲ 372	▲ 2,814	▲ 7,750	▲ 10,936		

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある -:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題
利用実績はほぼ順調に推移しているが、その反面安定した収入に結び付いていないため経営的に厳しい状況にある。
(2) 課題解決に向けた取組
利用者数に応じた必要最低限の職員配置で人件費の削減に努める。 購入物品の再検討で無駄をなくした購入を行う。
(3) その他
①利用者からの主な意見や苦情、対応策
①迎えの時間が早い時と遅い時がある。同じような時間帯にしてほしい。 ①対応:その日の利用者様の人数、送迎車両の乗車可能人数、天候などにより違いがある旨を説明。その後は同じ時間帯になるように配慮した。極端に違う場合は電話連絡させて頂くこととした。
②その他

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価
利用実績は順調だが、今後の動向については不明瞭である。今後もケアマネージャーにさくら荘のアピールを積極的に行い新規利用者が安定して来てもらえるよう努める。 また、利用者からの要望に応えられ、安心安全な利用者がまた来たいと思えるような雰囲気や常にかえながらより良い施設づくりをする。
(2) 施設所管課の評価
経費節減に努め、また、利用者家族の急な変更に対応するなど、要望に対応している。研修会や会議を実施し職員の資質向上を図っている。
(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)
施設PRを強化し新規利用者の確保を図り、利用者アンケート調査の意見や要望を職員で検証し、今後もよりよいサービスの提供に努めていただきたい。